Viernes 5 de Mayo de 1944
EL "ARGENTIN DJIJO"
NOTICIARIO ARGENTINO
Año XXI No. 2071

亞爾然丁時報

CORREO ARGENTINO CASA CENTRAL
FRANQUEO PAGADO CONCESION No. 953
TARIFA REDUCIDA CONCESION No. 718

發行所 亞爾然丁時報社
ブエノス・アイレス市
ウスパリアタ街九八一
電話（二三）七〇五一
購讀料月額二弗五十仙
Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 23, 7051

北支派遣軍空陸一體の新作戰
黄河週邊の重慶直系軍擊滅へ

【北支前線にて報道班員發四日】昨日の大本營發表の如くわが北支派遣軍は去る四月十八日以來北支南方地區の黄河周邊に蟠踞する重慶直系軍に對し斷乎猛攻擊の火蓋を切つたのであるが、早くもわが精鋭部隊は要衝新鄕を攻略しさらに黄河南岸の鄭州を攻略して目下敗敵を急追して河南省南方に向け猛進中である

重慶直系第十九師、第二十八師並に獨立第十一師の集團軍は重慶軍が最も誇る新鋭部隊であり、これを以て敵は黄河と新黄河との間に徐々に兵力を增強して同地一帶を制壓して臨時重慶勢力を擴大せんと企てたのであるが、一度びわが精鋭部隊の猛攻擊をうけるや一溜りもなく去る十八日以來敗走に次ぐ敗走を續けてゐる有樣である、即ちわが軍は四月十七日夜突如黄河と新黄河の重慶軍に對し攻擊の火蓋を切り、十八日午後六時には前線據點である黄河北岸の新鄕を完全に占領し引續き猛攻擊を加へて敵を黄河南岸に追ひまくり、二十日には南岸一大要衝鄭州を攻略して目下鄭州南方六十粁の要衝新鄭を猛攻擊中である、又安徽省北部の敵に對してもわが軍は攻擊を開始、敵の前線要衝を次々と占領敵の後方連絡據點を奪取するに至り敵はその敗走路を遮斷されたゝめ大恐慌を來してゐる、わが軍は間斷なき猛攻擊を連日の如く續行して敗敵を只押に追擊、重慶軍に對しわが軍は早くも重大打擊を與へてゐるのである

【北支前線にて報道班員發四日】去る十八日未明開始の空陸一體のわが新攻擊作戰はその日のうちに新鄕に肉迫して遂に十八日午後六時これを完全に占領したが、この新鋭部隊が二十九日までの間に敵を與へた損害は遺棄屍體約一千に上り其他鹵獲品多數である

さらに安徽省に進擊中のわが軍は十九日午後四時には要衝六安を完全に占領し引續き敗敵只押に追擊、二十一日午後一時には阜陽南方要衝固始を占領したが、さらに猛進擊を續けて阜陽に肉迫し同地の敵に對し猛攻擊を加へてゐる

華北政務委員會
情報部發表

【北京四日】華北政務委員會情報部では今回のわが北支新作戰の意義について次の如く發表した

日本軍は重慶軍抗戰分子に對し切ならずその無益な抗戰を擲棄すべく永い間作戰を進めなかつたのである然るに抗戰分子はこの日本軍の溫情的反省を促したのに對し徒に戰力を增强して良民の治安と安寧を脅さんしてゐる現狀に鑑み、日本軍は徹底的抗戰分子を擊滅するため今回作戰を進めるに至つたが、日本軍は早くも鄭州を占領しさらに進擊を續けてゐることは日本軍の實力を如實に物語るものであり抗戰分子はやがて徹底的に擊滅されるであらう

中部太平洋の航空戰果擴大
一擧に敵機百機擊墜破

【東京四日】去る二日大本營から發表された如く敵機動部隊は去る三十日と一日の兩日にわたりトラック諸島及びモートロック諸島に對し砲擊と爆擊とを加へ來つたが、わが航空部隊並に地上部隊は直ちにこれを邀擊して敵大型航空母艦一隻を擊破すると共に敵機三十數機を擊墜してこれを擊退したのであるが、その後の詳報によれば我方の戰果はさらに擴大され敵機擊墜七十五機、擊破十五機と判明するに至つた、斯くてわが軍は來襲の敵機を邀擊或は攻擊して實にその百機を一擧に擊墜破するといふ輝しい大戰果を收めたのである

【中部太平洋前線基地四日】二日午前午後の二回にわたり敵機はポナペ島に來襲したが所在部隊はこれを邀擊してその五機を擊墜他を擊退した、我方損害なし

DEL DEBER PATRIOTICO

La guerra actual parece que ha servido de lección a todos los pueblos que están en lucha la noción real del patriotismo: que es un deber del ciudadano prestar su servicio por la causa de su país, que demanda, con derecho, los sacrificios de sus hijos; que antes que los intereses del individuo o de la familia están por encima los de la nación. Así se explica que en los países en donde tanto valor le habían asignado al individuo, han debido predicar esa noción del deber para con la patria, siendo unánimemente aceptado con todo entusiasmo.

Ya no pueden hablar del fanatismo del patriotismo japonés. Antes por el contrario, están profundamente reconocidos de la bondad de la enseñanza tradicional del Japón. Los japoneses que constituyen la nación sui generis de carácter familiar, se consideran, con orgullo, como miembros de la gran familia que es la nación nipona. Por eso, cuando se trata de defender su país, su honor, su independencia y su vida, no piensan sino por la patria olvidándose de su vida individual, formando así una fuerza única que es la potencia militar más poderosa de ese imperio.

En un país nuevo como la Argentina, esa unidad y ese espíritu patriótico no existe todavía, pero la influencia de la tierra que es muy fuerte está formando un sentimiento real del patriotismo bien digno de la herencia de la noble hidalguía española que predomina por encima de toda otra influencia cosmopolita.

Los argentinos del presente pueden estar orgullosos de su pueblo. que por su cultura, inteligencia y por su posición económica, ocupa el primer rango en la América latina, en donde ejerce de hecho el ''rol'' de conductor de la nave del continente.

Por lo mismo, por su honrosa posición, por su responsabilidad necesita contar con el comportamiento de sus ciudadanos. Hagamos votos por que el honor argentino será mantenido conforme con su gloriosa historia.

國民日本歴史
高橋俊乘
〔89〕

天正六年羽柴秀吉は信長の命を受けて、毛利氏を討たうとして兵を中國に進めた。備前國主宇喜多秀家は秀吉に通じて中國征伐の先鋒となつた。秀吉は先づ播摩の姬路城を築き、更に三木城を降して兵を因幡に進め鳥取城をかこんだ。城主吉川經家は死守したけれども、次第に糧食がつきたので、やなく經家以下重だつたものは切腹し、その他のものを助ける約束で降參した。吉川元春が大軍を率ゐて救に來たときは、もうあとの祭であつた。すでにして秀吉は大軍を率ゐて伯耆に入り高山に陣して元春と對陣した。元春は自ら其退路を斷つて、秀吉と決戰しようと挑んだが、秀吉は鋒を交へずしてそつと軍を還してしまつた。天正十年秀吉は備中に入つて淸水宗治を高松城に圍んだ。城の傍は一面に平地で水田が多く、馬の駈引などのできない所であつたから、秀吉は水攻を計畫して、城の南にはるかに長堤を築き河水を導いて、その中にたゝへた。折しも五月雨の頃で、日毎々々の雨つゞきに、水嵩は次第にまし、高松の民家は水底に沈み、はては城中にも水がはいつて、兵卒は櫓に上り、或は樹の枝に簀子を編上げて、その上に坐して日を送つてゐた。毛利輝元は吉川元春小早川隆景と共に救ひに來た。その時まだ戰ひが始まらぬ前に、秀吉は毛利氏の虛をつき、一大決戰をして直ちに雌雄を定めようとして信長に援軍を請うた。信長は大いに喜び親しく軍を督して、まづ明智光秀等を先發させ、自分はその子信忠とゝもに安土を發して京師に入りその夜信長は本能寺にやどり、信忠は妙覺寺に泊つた。

然るに不慮の大事がおこつた。明智光秀はもと美濃の人で浪人してゐたのを信長に知られ、重用せられて、諸將の列に加へられたのである。勇氣はあるが大度なく、徒に小さいことをやむ性質で、却つて人の嘲笑を招くやうな風であつた。信長はよく將士を用ひたけれども、疳癖の人で、きつく家來を叱り飛ばすことがあつた。光秀もしば／＼これが爲に辱めをうけて心ひそかに怨んでゐた。この年五月德川家康が安土に來たので、光秀は命ぜられて接待役となつたが、そこへたまたま秀吉から援兵を求めてきたので、早速光秀は出發を命ぜられた折角の御馳走も無駄になつたので、大いに憤慨し、平生の不平は一時にもえ立ち、急に居城丹波の龜山にかへり、明智光春等を具して夜大江山を通つて老阪へ行つた。左は京都路であり右は備中道である光秀はこゝまで來て急に馬首を左へ向けた。既に桂川を涉るや、光秀は鞭をあげて、大音聲に「敵は本能寺にあるぞ急ぎ討取れ」と下知した。六月二日の黎明俄に本能寺を襲うた。信長驚き起上つて「叛する者は誰だ」と問うた。小姓森蘭丸は緣に出で寄手の旗の紋を見て奧へかけ入り「惟任光秀でございます」と告げたので、信長は「偖ては是非もないことだ。一矢報うて腹切らう。防げよ者ども」と下知し、自らも弓をとつて敵數人を射斃した。蘭丸以下近侍の者も皆奮戰して死し、信長も火を放つて自殺した。時に歳四十九。信忠は變を聞いて急ぎ馳て父の難を救ひに出掛けたが途で本能寺に火の起るのを見、去つて二條城にこもつたが、光秀の兵が來て圍むに及び、力戰して自殺した。年二十六。信長は尾張に起り海内を平定して宸襟を安め奉らうとしたのであつたが、惜しいかな業が半で倒れた。然しその大業は半分は出來上り海内平定の土臺は殆ど築かれたのであつた。殘りの建設は秀吉によつて成就された。秀吉の海内統一の大業をなし易からしめたのは、實に信長がその基礎を固めたからであつた。されば朝廷はその勳功を思召されて、後に太政大臣從一位を贈られた。今日京都の別格官幣社建勳神社に祀られてある。

本能寺溝深幾尺　我就大事
在今夕　抗粽手在併糭食
四簷梅雨天如墨　老阪西去
備中道　揚鞭東指天猶早
吾敵正在本能寺　敵在備中
汝能備　（賴山陽）

森蘭丸は正直な少年であつた。ある時信長が厠に上られた時、蘭丸は信長の佩刀をお預りして入口に侍つてゐたが退屈しのぎに太刀の鞘の刻目を數へてゐた。信長はそれを知つてゐたが、後日小姓を皆集めて「この鞘の刻目の數を言當てたものには、この太刀を取らせるぞ」と言つた。小姓達は喜んで思ひ／＼に言つたが、蘭丸は默つてゐる「汝はなぜ答へぬか」と問ふと蘭丸は事の由しを申して「刻目をよく存じてをりますのに、存ぜぬ風をして申上げますれば、殿樣を欺き奉るわけでございますから、わざと申上ませんでした」と言つたので、信長は賞めてその太刀を蘭丸に與へた。

イムフォールの攻防戰
今や最後的段階に入る

【印度最前線にて報道班員發四日】イムフォールを繞る攻防戰は今や最終段階に入つたが、東部印度各前線を視察してこのほど基地に歸還したわが一部隊長は次の如き視察談を發表した

イムフォールの敵は最後的抵抗を續けゐるがわが軍の猛攻擊は次第に重壓を加へその輸送路さへ斷れてゐる今日漸く空中より兵員を增援する一方戰車、重砲等を無數にデイマプールより繰出してその物量の力に物を言はせて躍起となつてコヒマ周邊に反擊に出でゐるも、既にコヒマはわが軍の掌中にあり然もシルチヤの輸送路も遮斷され一切のものを空中輸送に賴らねばならぬ現狀であり、それも天候次第であつて絕對的のものではない、さらに目前にぶらさがつてゐる雨季は如何とも出來ず、九死に一生を狙う敵はコヒマ街道或はシルチヤ街道に死者狂ひの抵抗を續けむやみに戰力を同方面に增強してゐるが、これに對しわが軍の輸送は順調であり、後續部隊は續々と前線に到着してをり今やイムフォールの敵第四軍團はアラカンから駈けつけた第十七師の增援も何等の效なく包圍殲滅戰は大詰めとなりその鐵鎖を刻々と壓縮してゐる

パレルの敵を猛砲擊

【印度最前線にて報道班員發四日】三十日以來パレル、イムフォールを眼下に見下すパレル北方三五二五高地を攻擊中であつたが、これを完全に占領したわが同盟軍は同高地東南方メングルの敵約三十に對し引續き猛攻擊を續行中であり、パレルの永久陣地の敵も續々北方に撤退を開始したこの敗敵に對し猛攻中のわが軍は敵の二回にわたる反擊をうけたがその二回とも敵は全滅的大打擊をうけて敗走したが依然わが軍は敗走の敵を脅してゐる、今やパレルの敵三千は最後的抵抗を以て必死の防衛に當つてをり、茲に最後の擊滅戰は展開されるに至り我砲兵隊の最後的猛砲擊は愈々敵を苦境に陷らしめてゐる

緬印國境
南部戰況

【南部國境前線にて報道班員發四日】敗敵を追つてパレトワを占領したわが同盟軍は一擧に國境に向け進擊を開始したのであるが、早くも國境の要衝ドンタトメを占領したのでパレトワ北方四十粁に進出潰亂の敵は北方に向け敗走中であり國境に向け追擊中のわが先鋒部隊は今や國境線に肉迫してゐる、ドンダトメを占領したわが同盟軍の去る二十日より二十二日までに判明した敵に與へたる損害は遺棄屍體六百、鹵獲せる自動小銃七十二、迫擊砲二門、輕機關銃十八挺、無線電信器其他銃器彈藥多數を鹵獲した

陸鷲衡陽飛行場猛爆

【支那前線基地四日】支那方面のわが航空部隊は三日夜大擧して衡陽飛行場に殺到、空陸からする熾烈な反擊を冒して痛烈に滑走路及び附屬施設を爆碎したが敵機の反擊のため我方二名の負傷者を出したが全機無事歸還した

病氣全快近き汪氏
元氣で誕生日迎ふ

【東京四日】去る三月五日急遽來朝して翌六日壓迫性脊髓病の切解手術をうけその後專心療養中の中華民國々民政府主席汪精衞氏の容體はその後頗る良好にて最近は平熱を保ち快癒の兆候をみせてをり、汪主席が今日六十二回の誕生日を元氣のうちに迎へた旨大東亞省當局談を以て次の如く發表された

目下本邦に來朝病氣治療中である國民政府主席汪精衞は先般來頗る經過良好なりしところ稍々平熱を持續し快癒に向ひつゝあり、本日の六十二回誕生日を頗る元氣で迎へた

國府要人汪主席の全快祈願

【南京四日】汪精衞主席の六十二回誕生日を迎へるに當り國民政府では本日午前九時大禮堂において各要人出席の下に日本にあつて專心療養中の汪氏の誕生日を祝福すると共に病氣全快の一日も早からんことを祈願し、さらに一同は外交部において健康恢復のため盃を上げたが、當日宣傳部から汪精衞主席は快癒に向つてゐられる旨發表した

【新京四日】滿洲國皇帝陛下におかせられては本日六十二回の誕生日を迎へた國民政府主席汪精衞に對し御祝電を發し慶祝の意を表した

重慶の苦惱
英國借款供與

【上海四日】重慶からの情報によれば、重慶政權治下のインフレーションは物凄く物資拂底と通貨膨脹により民生の安定は著しく激退し、經濟不況はます／＼深刻化の兆候が濃厚となり、これを救はんとして英國は最近重慶政權に對し五千萬ポンドの借款を供與したといはれるが、如何にポンドを供與したとて物資不足の重慶には何等效果なく徒に燒石に水となるだけである

セレベス島
青年團發足

【メナド四日】セレベス島の青年は鄕土防衛に目覺めわが軍政に協力中であり、このほどわが軍政監部當局の指導の下にメナド青年團を組織したが、團長以下幹部の任命も終り約四千名の團員を擁しこのほど盛大な發會式を軍官民多數出席の下に擧行した

東京の新聞
〃決戰下の淺草〃

【東京四日】都下の新聞の戰況政治面のトップには各新聞とも昨日の大本營發表の北支新作戰を大々的に揭載してゐる、之と共に毎日新聞は米空軍總司令官アーノルドの「米空軍の生立ち」と題するスイス新聞から轉載した米空軍の宣傳振りを報じてをり、又社會面には淺草の繁華街もすつかり決戰の色に包まれてゐるが、觀音樣に詣る人々は戰前と少しも變りなく、又芝居小屋は產業戰士を爆笑させてゐる等日中は賑であるが、昨今は夜間興業はなく淺草の不良もすつかり姿を消してしまつたと報じ、又內地にあつて產業戰線に活躍中の半島青年は近く徵兵檢査をうけて帝國軍人の一人となり、宿敵米英擊滅に燃へる十數萬の半島青年が水淸き玉川のほとりに猛訓練うけそのするどい氣合は附近一帶に木靈してゐると報じてゐる

時報◇片々

◆現政府の外相はマソーン農相が兼任しまた司法文相はテサイレ海相が兼任中のところ政府は二日附發令を以て專任外相にオルランド・ペルーフオ陸軍少將を專任司法文相にツクマン州干涉使アルベルト・バルドリッチ氏を榮轉せしめそれぞれ任命したが、右外相並に司法文相の就任宣誓式は三日午前政廳サロン・ブランコの間においてファーレル大統領以下閣員その他高官出席の下に行はれた

◆ファーレル大統領はピスタリーニ土木相以下多數隨員を從へ豫定の如く昨四日午後十一時レティロ驛發の特別列車でメンドーサ、サン・フアン、リオーハ及びカタマルカ四州訪問旅行の途についたが、歸武は來る十二日午前十時四十五分レティロ驛着となる豫定

◆リオ・デ・ジャネイロ三日發の報道によれば、リオ市の新聞「オ・ジオルナル」紙は米國の在伯海空軍基地の永久租借問題に就て論じ、米國が戰後も現在の如き米伯友好關係の持續を希望するならば、戰時中伯國に設置した海空軍基地は戰爭終了と共に伯國に返還すべきであり、この點同問題を審議しようといふ米國議會は舊式の帝國主義を斷然排して、在伯の米國海空軍基地は戰後直ちに返附するよう善處されたしと述べ米政府に警告を與へてゐる

◆樞軸映畫常設館アストリア館では獨逸で好評を博した映畫「幸福なコンサート」と題するウーフア社特作音樂映畫を目下上映中である

◆二宮喜藤二氏は家族と共にドローレス市を引揚げ武市に轉住の由

一二月雜詠
アロマ吟社

秋晴れをいよいよ尖り無線塔　暮平
子等は皆日やけして炎天に蝶を追ふ　五黃
大河に晴れ行く霧や茄子の花　一碧子
鋪道に酌むや大き入日に眞向ひて　赤城
花の香や夜更けて客の辭するかな　赤城
朝霧も汽車の煙りも樹に淡く　暮平
若き日の心となりぬ潮に浮く　万里
旗竿に今は旗なき館かな　道夫
爆音にユーカリ樹て朝の影　暮平
青葉より蝶の湧き立つ大暑かな　一碧子
山宿や手織帶など買ひにけり　一路
星空の低き町なり馬車を驅る　一路
雛連れの駝鳥駈け去る砂漠かな　一路
山霧や岩肌に咲く小さい花　一路
滿員のオムニブスきしる暑さ哉　杜人

御斷り

去る三日朝故國より放送のラヂオ・ニュースは如何なるわけか殆ど聽取不可能なりしため、本紙四日附木曜日版は止むなく休刊致しましたから右御諒承願ひます

社

組合情報

【300】

ブエノスアイレス花卉產業組合報告

五月二日

野球決勝戰詳報

カピタル・スード聯合軍勝つ

第五回ニッパル・クラブ野球決勝戰展開にふさはしく去る三十日の協和園は絶好の野球日和に惠まれて、早朝より觀衆續々と集ひ來り、加之、午後より日語校友會總會もあつたゝめ多數青年男女は各自思ひ〳〵の場所に陣取つて將に繰り展ろげられんとする決勝戰を鳴りを鎭めて待てば今日の覇者を目差すエスコバール並にカピタル・スード聯合軍は選手の出揃ひを待つて豫定より遲れて午後三時、照屋氏球審、秋葉、藤岡兩氏壘審の下にエ軍先攻にて俄然待望の決戰の火蓋は切つて落された

最初兩軍互ひに相手の呼吸を計り、聲を呑んでみだりに發せず、たゞハチ切れ相ふ闘志のみがフイルドに充ち充ちて觀衆をして思はず緊張せしめる程に不氣味な中に聯合軍の荒岩投手必勝を期してやゝ蒼白を帶びた面持でプレートに立ち、櫻井捕手ポセションに着いて藤岡捕手を休養せしめこれを藤井一壘、猪狩二壘、佐々木三壘　杉山遊擊、船津右翼、楢崎中堅、山口左翼の堅陣で守ればエ軍の猛攻も奏効せず打者次ぎ〳〵と枕を列べて倒れて無爲。代つてエ軍小池要吉投手に森七郎捕手を配し、これを小池七郎一壘、矢島二壘、古川三壘、森正男遊擊、石田右翼、鈴木中堅、中西左翼の陣容で守れば聯合軍まつしぐらに打つて出んとし藤井選手先づ三壘打を打つて氣勢を上げたるも遂にホーム寸前で生還出來ずに無爲。

二回目エ軍打者安打一本のみを以つて又も續けざまに葬られ代つて聯合軍の佐々木二壘打で荒岩、楢崎を生還せしめ尊い二點を入れて機先を制し、三四回共無爲にます〳〵あせり出したエ軍を尻目に四回目も一點を加へて茲に壓倒的優位を占むるに到つた。

しかしエ軍もさるもの、渾身の攻擊力を振絞つて五回に一點、六回目に三點を奪回して聯合に六回裏で一點を得さしめて遂に四對四の同點となり、戰は彌が上にも白熱化し觀衆は熱して喚き、選手達の眼は血走り、互ひに叱咤し、幾たびか熱球碧空に唸りとび、兩軍互ひに汗みどろの戰を繰り返へし、寄せては攻め、退いては守り、虛々實々互ひに讓らず火花を散らして、もみ合ひ、へし合ひ、俄かに雌雄も斷じ難く、觀衆はたゞ手に汗握り、一勝に歡呼し、一負に歎息を洩らすうち、兩軍の投手よく投じたるも七回目頃より共に疲勞甚だしく、九回表にてエ軍十二對九で三點リードして茲に賽を聯合軍に投ぜしめて勝敗の決を待つたのである。

小池投手の疲れに乘じたる聯合軍最後の打擊物凄く、就中、佐々木、藤井よく二壘打を飛ばし一死の四點を以つて遂に十三アルファ對十二にて波瀾に富んだこの一戰を勝拔き優勝の榮冠を捷ち得たのである。エ軍破れたりと雖も、その正々の戰ひ、堂々の技をみせて、幾度びか觀るものをして讃嘆せしめた程であつた

終つて直ちに吉宮運動部長の閉會の辭に次いで郡理事長より優勝チーム並に第二位チームに賞品を授與すれば優勝の聯合軍の藤岡主將優勝旗を、藤井一壘連勝杯を、佐々木三壘南亞日報社銀杯、荒岩投手運動部長賞を、櫻井捕手クラブ・メタルを夫々捧持して全軍と共に觀衆の拍手喝采裡に場內を一巡し、茲に大會の幕は落陽と共に靜かに鎖され、混沌たる夕靄が兩軍の悲喜の、觀聲の、怒號の、そして拍手の渦卷の響きを追ふようにとかし込み、たゞ夜の靜寂のみが一歩一歩と決戰の跡に訪づれ初めたのである。

聯合軍〇二〇一〇一三二四＝一三A
エ　軍〇〇〇〇一三二四二＝一二

法律事務所

訴訟、物件賣買、一般契約事項、諸官廳への各種手續、其他法律事務一切の御相談に應ず
▲應接時間午前十時—十二時
辯護士　田上二丸
ウルグアイ街七六三番地四階
電話四四—五五一八

集會案內

牧師　谷　力
◆子供日曜學校　毎日曜日午後二時より
◆日曜禮拜會　毎日曜日午後三時より
◆聖書研究と祈禱會　毎水曜日午後九時より
各集會の出席は自由、求道者の質問に應じます
市內マガジャネス街一二三八
電話二一—三四八七
日本人基督教會

製造販賣

◎蚊取線香（安價にして効力保證）
◎芳香線香各種
◎佛事用線香（お灸兼用）
地方代金引換小包送料及び手數共一箱金四跡七十仙
パルカルセ街一四七一
電話三三—四八八七
片山良平

移轉通知

今回診察所を左記に移轉致しましたから御通知申上げます
尙診察時間は從前通り毎日午後三時—六時まで
市內ARCOS街三〇五三番地
〔カビルド街三一〇〇番台、ヌーニエス驛より三丁〕
ドクトル　佐藤謙一
電話七〇—七二六五

廣告

各種中等學校、專門職業學校、大學修業者へ學資の補助並に教科書參考書の貸與を致します
希望者は左記へ
社團法人　獎學會
デフエンサ街　五一〇
電話　三四—二八二六

CINE
Astoria
Suipacha 482　U. T. 35-0156

◆

獨逸映画上映
▲毎日十二時半より二十四時まで連續映寫
▲入場料　一跡
「ウーファ」社提供目下上映中

Dr. A. GODEL

MEDICO CIRUJANO

Bmè. MITRE 1676 1er. Piso

◎◎◎◎◎◎◎最新式獨逸療法
淋病—根治療法
梅毒—六〇六號九一四號
婦人病　心臟　胃腸
肺　腎臟　神經系統
各科專科
◎日本人方には初診無料
X光線　デアテルミー
血液檢査
診察日　自午前八時至九時／自午後四時至八時
日曜、祭日午前中

日本座敷　文化住宅
建築
大工指物師　山本玄
市內ビージャ・マルチレ區スフラテギ四二壹
電話七四一（フロリダ）三二一五〇

代理業

Representaciones y Comisiones
S. FUJII
藤井精四郎
Calle Santa Rosa 47 - U. T. 98095
Córdoba

▼…領事館
▼…銀行
▼…船會社
……に近く
御乘船御下船の便よし……
◎地方より出武の節は是非御立寄願ひます
御下宿　御旅館
昭和館
ベンテシンコ・デ・マーヨ街三三三〇
電話三一—五一四五

◈邦人間唯一染色の工場
◈設備完全　仕事入念
齋藤染色工場
アベヤジネダ市ラカラア街一四一七
電話二二一—七七一五

KEROFIX

Talleres:　CHARCAS 4511
Unión Telefónica 71-9998

獨逸人の店

經濟的な本品をお勸め致します
製作、販賣、修繕、取付、交換引受致します
當方はカーサ・ボルカン以來御馴染の獨逸人で日本人間に數多の顧客を有し仕事は入念、迅速

Dr. Franz Robbers
Jefe de Clínica
Médica del Hospital
Alemán
CHARCAS 929
2.o piso
U. T. (31) 9792

◆

獨逸病院內科部長
ドクトル
ローベルス
▲診察時間　午後三時より五時まで（土曜日を除く）
チャルカス街二九二（二階）

鯛みじん

上品な味、榮養に富み、高尙な加工品として知られ殊に子供の食膳に喜ばれます
◈其他小魚類の煮干、ミリン干、干蝦等
◈銀產組合花卉組合及び西坂商店にありますから御求め下さい
マル・デル・プラタ市
梶原

ラ・ムスメ

Suipacha 359　U. T. 35-2565

万年筆
パイロット　十五跡以上
パーカー　四十五跡以上
學生用　三跡以上

日西大辭典
ファン・カルボ師著　二十五跡

御贈答用品
取揃て御座居ます

カフェ　薩摩

有水君子
久松純雄
竹ノ内武義
加藤吉隆
〈ヘネラル・オルノス街五四〉
電話二三—〇五二六

Taller Mecanico
de G. GONZALEZ
ブランチャ機カルデラの修繕其他
●
San José 220　U. T. 38-5923

アリス

デフエンサ街七一七
電話（三三）四三八二

◎スモーキング　十三跡より廿七跡まで
◎サコ・コルト　九跡五十仙より二十四跡まで
◎パンタロン・ネグロ　十六跡五十仙
◎カミサ・ブランカ　七跡五〇十跡五十仙
◎地方よりの御注文はビヤロンガ便にて、代金引換で送ります

時計販賣

並びに修繕
○裝身具各種取揃へて居ります
○電話で御一報次第參上致します
東京堂時計店
エントレ・リオ街五四一
電話三八—五六一七

Gran Taller

de
S. MIYAZONO
RIVADAVIA 3519 U. T. 62-2083

△クのジョの御用命は
幣店の專門●へ
△仕上能率一日三千本
△入念　優美　確實で
迅速配達致します

◉便箋、封筒、名刺其他
多少に不拘御用命願上ます
西和文活版印刷
ニッポン堂
サンチャゴ・デル・エステロ街九七五
電話二三—七八六四

MUDANZAS　ALEMANA

信用第一
機械類・ピアノ・金庫其他凡ゆる荷物の運搬御用命下さい
電話（三三）二三七二
パセオコロン街一一六三

日本人
最古の洋服店
片山洋服店
ピエドラス街五七二
電話三三—五四五二

天幕と日除幕販賣

宴會用裝飾品の御用立
◎天幕と日除幕＝パティオ、店舖、庭園及び貨物自動車用の物各種販賣
◎結婚式その他宴會用の椅子、コーパ、パーソ類、絨氈及び窓掛等の御用命に應じます
獨乙人の店『ハン』
サン・マルティン街六八三
電話三一—三二五六

ケルセン廉賣

永年日本人洗濯店並ニ御家庭ノ贔屓ヲ蒙ツテ居リマス
ERNESTO
COCO
15 de Noviembre 2335
U. T. 23-2835

SASTRERIA "TORRO"
SARMIENTO 654
U. T. 34, Defensa 3951

トーロ洋服店

品質本位
仕立入念
―八十五跡より各種―

技術と設備を誇る
大染色工場
●日本人同業者各位に信用あり
ラ・プリマベーラ
デセアード街六六一
電話五九—三七一九

Biarritz

SASTRERIA FINA

仕立入念、服地上等、格安
店主自身應對致します
コリエンテス街四一一一
電話三二—三五〇三

EUSEBIO MIRANDA
TALLERES
CORRIENTES 5802
Esq. J. B. Justo
U. T. 54 - 2390

●カルデラ大小型各種販賣
修繕及び製造販賣特別に勉强
日本人には特に[illegible]
して居ります

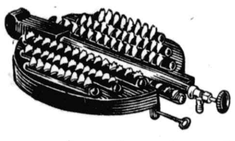
JUGUETERIA
TORRO
SARMIENTO 540
U. T. 34, DEFENSA 1687

玩具の御買求めは
廉價な新品豊富の
トーロ玩具店で
[illegible]

一般食料品

味噌醬油の醸造、素の饂、福神漬、御一報次第配達致します
西阪商店
アウストラリア街二一〇
電話二一—二九二五

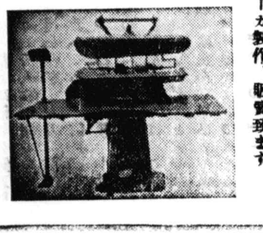
TALLER MECANICO
— de —
Angel RODRIGUEZ
PERÚ 710
U. T. 34-1192
Particular U. T. 34-8587



新型經濟的
カルデーラ
ケマドール
の製作販賣

FRANCISCO SANTERO
Ex mecánico de la Cía. Hoffman
CONSTITUCION 3229
U. T. 45 - 0294

フランシスコ　サンテーロ



ブランチャ機並びにセントリフーガ製作、販賣致します